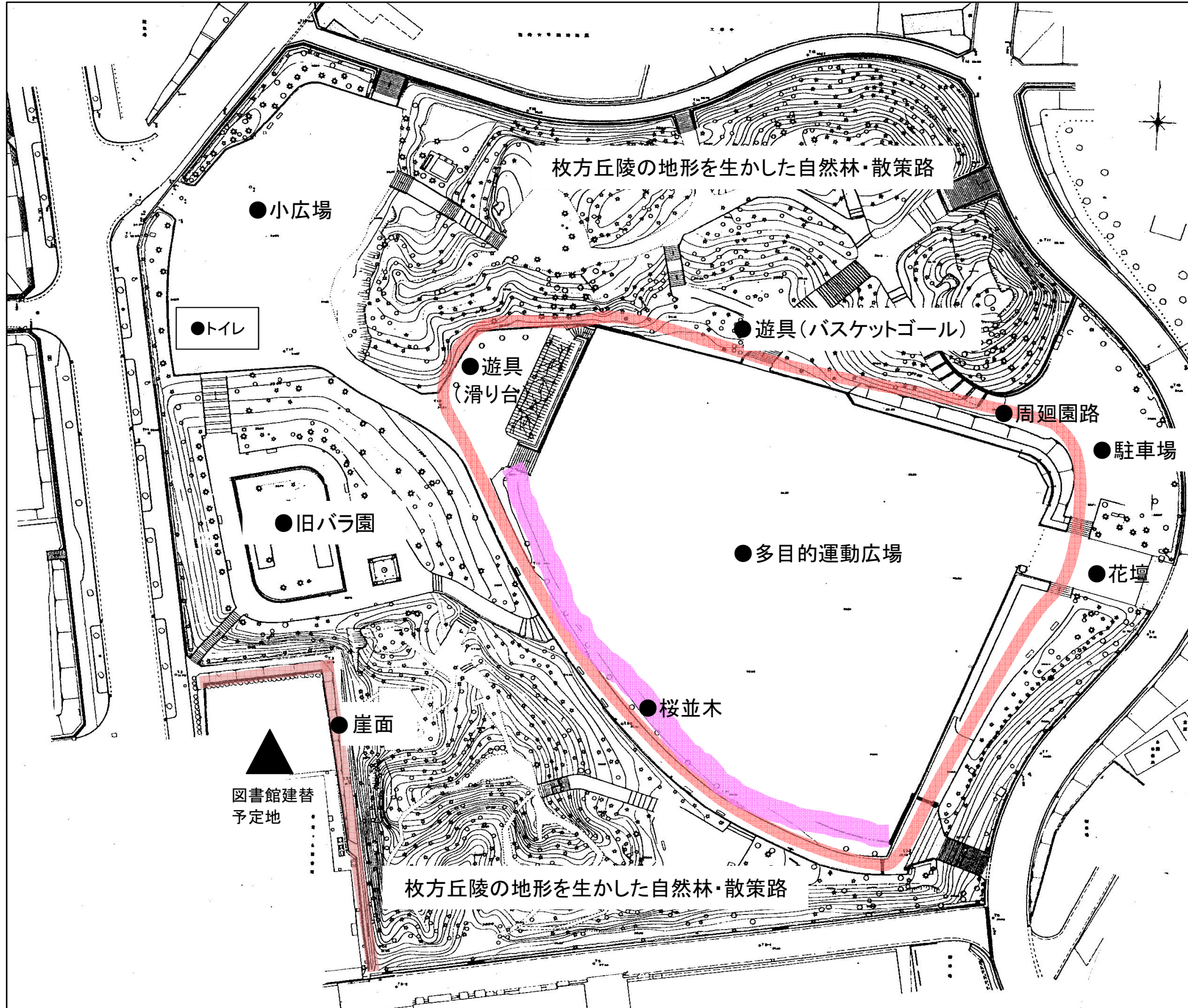


香里ヶ丘中央公園の現状

参考資料6



総合案内看板・花壇等

香里地域の核となる2.6haの近隣公園。開設後50年が過ぎる。子育てと健康づくりが似合う公園である。園内には主な出入口が2か所あり。総合案内看板がなく、花壇は1箇所のみ。

駐車場

駐車場は有料施設である多目的運動広場の使用者に限り利用させている。駐車台数が12台と少なく、f不法駐車に対し近隣住宅から苦情がある。(使用料を徴収していない。)

自然林・散策路

子供の冒険心をあおる自然林が残されてはいるが、土が痩せて根が露出し、少し危険な状態。木がうっそうとして見通しも悪い。

崖面

土が痩せて根が露出している、土砂の流出が心配。図書館の建て替え時でなければ、抜本的な改修は困難。

遊具(バスケットゴール・滑り台)

バスケットゴールは人気があり、小中学生の使用が多く順番待ちが見受けられる。滑り台は近隣の幼稚園がよく集団で来園し利用する安全な場所となっている。

多目的運動広場の利用

有料で予約制の運動施設であり、指定管理者が運営している。
 ・供用時間は午前8時から午後6時まで。
 ・使用料は2時間あたり1,500円
 ・利用申込率は平日44.4%、土日祝86.2%
 ・ゲートゴルフ・グラウンドゴルフ・サッカー・野球が多い。幼児を除き、多世代が利用している。

桜並木

公園前の市道(桜通り)から人の動線を確保するため市が園内に桜を植樹してきた。西側の自然林と合わせて少し暗いイメージがある。ベンチを設けているが利用者は少ない。

旧バラ園の利用

小高い丘のため、公園利用者の動線があまりとれていない。道路からよく見え、図書館から一番近い場所になっている。周辺にアラカシが群集し、ドングリを拾う子供の姿を見かける。現在、バラ園を廃止し、ベンチを設け休憩場所として利用している。

周廻園路

高齢者のウォーキングや中学生のクラブ活動としてジョギングに使用されている。路面に凸凹があり快適性に欠ける。桜並木側は暗い感じはするが、東西の出入口を結ぶ園路でもあるため、人の動線として主な役割を果たしている。